

トリセツ

トリセツとは…?

— 鳥大説明書 —

鳥取大学に関する様々な情報を取り扱い、解説していく情報紙です。
学生スタッフが企画・取材をすることで、学生目線から見た鳥大の姿をお届けしたいと思います。

鳥大 見聞録

新任教員編

INTERVIEW



鳥大に新しくやってきた先生たちって、どんな人？ どんなことを考えているの？ そんな素朴な疑問にお答えすべく、今年度着任された先生方のうち、数名にインタビューしてきました！
まじめな話もあれば、ちょっと意外なエピソードも……。そんな先生たちの素顔を、少しだけのぞいてみませんか？

工学部

● 化学バイオ系学科

あごう まりこ
吾郷 万里子先生



島根県
出身

● 専門分野

材料科学、高分子科学、コロイド科学を専門領域としています。バイオマス資源の有効活用のため、とくに未利用バイオマス、とされるリグニンやキチンキトサンなどに着目し、これらをつかった機能性材料の開発を目指しています。



鳥取大学工学部化学バイオ系学科、有機材料化学研究室メンバーと。2025年。

● 鳥取大学に着任された理由

海、山といった自然があふれ、農業も盛んな土地であることから、研究の主題としているバイオマス資源が豊富にあり、その種類も多様です。鳥取大学に着任してからは、鳥取県産の未利用資源の有効活用を目指した研究にも着手しており、充実した毎日を送っています。

● 教員になった理由

研究が好きなのと、それから学生さんたちとともに何かに取り組んでいくのが楽しいからでしょうか。

● キャリアの転機になった出来事

フィンランド・ヘルシンキにあるアアルト大学やアメリカ・ミシガン州のウエスタンミシガン州立大学、ノースカロライナ州のノースカロライナ州立大学で研究や教鞭をとる機会に恵まれたことです。たくさんの素晴らしい友人ができましたし、研究だけでなく人生の師ともいえる先生に出会うことができました。



左：アアルト大学でのフェロー時代。2015年。
右：昨年（2024年）、日本に恩師が訪ねてくれたとき。

● 大学生へのメッセージ

貴重な時間です。一日一日を大切に過ごしてください。またその貴重な日々を、このような素晴らしい環境にある鳥取大学で過ごせることに感謝してください。

医学部

● 医学科

みはら しゅう
三原 周先生



島根県
出身

● 専門分野

鳥取大学医学部附属病院内科専門医研修プログラムでの研修を経て日本専門医機構内科専門医を取得し、内科が専門です。産業医活動の経験もあります。

現在は鳥取の総合診療専門医・家庭医療専門医を育てるプログラムに登録し、専門研修を行っています。

● 鳥取大学に着任された理由

自治医科大学を卒業後、鳥取県職員として義務年限9年間、県知事が指定する医療機関に派遣されてきました。自宅から通える範囲の職場で、総合診療・家庭医療を実践可能な場所を探していく中で、勤務、ご縁をいただきました。

● 教員になった理由

鳥取大学医学部医学科に設置されております地域医療学講座へ採用いただき、教員となりました。

● キャリアの転機になった出来事

僻地の診療所に3年間派遣され、多くの経験をする中で苦悩を多面的に捉えてきたことが、今後の自身の医師としての方向性を決定付ける出来事であったように感じます。

医療を行う上では、医学だけではなく人類学、哲学、社会学、経済学など多くの分野の知識が必要であると痛感する経験を経たことも、大きかったように感じています。



● 大学生へのメッセージ

疲れが溜まってくる時期かもしれませんが、体に気をつけ毎日のリズムを崩さないよう頑張ってください。将来医療に携わる大学生の皆様、患者さんの話を聞き不安を取り除くことができ、感性やコミュニケーション力、豊かきみたいなものにも気を配ることができる医療人を目指して頑張ってください。

農学部

共同獣医学科

奈良井 絵美先生

岡山県出身



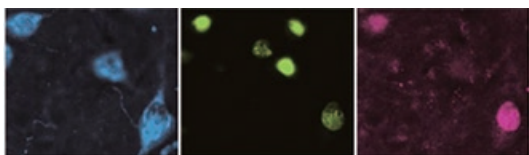
専門分野

専門は生理学です。生理学は、生物の身体の仕組みや働きを明らかにする学問です。私は現在、運動時に自律神経を制御する脳神経回路について研究をしています。特に、運動中の循環調節に関わる脳神経活動に着目しています。



鳥取大学に着任された理由

博士課程を鳥取大学医学部統合生理学教室で修了しました。当時の指導教官である先生の研究室で、引き続き運動時の自律神経制御機構の研究に取り組みたいと思ったのが理由です。



脳のある領域の神経が運動によって興奮したことを示す顕微鏡写真。

教員になった理由

以前は総合病院で理学療法士として臨床勤務と並行して研究をしていましたが、長期的には臨床業務をしながら十分に研究活動をするのは難しいと感じました。研究を主軸にしていきたいという思いから、大学での研究活動ができる教員を志しました。

キャリアの転機になった出来事

出産と育児に伴う休職は転機になりました。3人の子どもを出産し、3人目の子どもが2歳になったときに本格的な復職を考えました。定年まで残り20年以上ある今、じっくりと腰を据えて向き合える仕事に就きたいと思いました。

大学生へのメッセージ

学業以外でも、「これはやった」と思えるようなものが持てると思います。少し大変だと感じるがあっても、それは心身のキャパシティを広げ、また支え合える友人を得る機会にもなるはずです。それらはかけがえない財産になります。

大学生のときに打ち込んだヨット部での活動。



研究推進機構 研究戦略本部

米子地区 知財担当

西 幸雄先生

奈良県出身

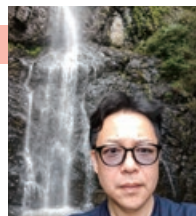


専門分野

分野でいえばライフサイエンスです。業務内容は大学の基礎研究を社会で実用化されるように様々な角度で支援すること、特に知的財産の分野を担当しています。30年間民間企業でヘルスケア関連の仕事をしてきました。研究をビジネスにつなげるのが専門です。

鳥取大学に着任された理由

企業を定年退職し大学教員になりたくて職を探していました。私は長年東京に住んでいたため鳥取を訪れた時のいい意味での人の少なさ、海と山の近さ、食事の美味しさに魅かれて、この地を選びました。



鳥取の環境にホレました。

教員になった理由



ズバリ、名誉です。もちろん民間企業で培った知識をアカデミアで活かしたいと思ったのも事実です。

一方で、企業→大学って何となく偉くなった気がしますし、「先生」と呼ばれるのも気分がいいものです。

30年間のキャリアを大学で活かしたい!

キャリアの転機になった出来事

社会人3年目のころ、当時の研究所長から「A社と協業の話があるので調べてくれ」と言われ、その企業の研究内容や財務業績、将来性などをまとめて報告書を提出しました。すると所長から「A社の社長はどんな人だ?」と聞かれ答えに窮していると「一緒に仕事をするときは相手が信用できる人かどうかが一番重要だ」と言われ、信頼関係の重要性に気づかされたことです。ちなみに業務提携の話は既に決まっていた。

大学生へのメッセージ

「何事にも本気で取り組んでほしい」授業もアルバイトもサークルも「本気でやる」ことでしか見えない景色があります。たとえ結果がうまくいなくても、本気で取り組んだ経験は、必ずあなたの力になります。その経験は、社会に出てからも、ずっとあなたの背中を押してくれます。



本気でやったことは必ず自分自身の力に。

感想

普段お会いすることができないような先生方への質問をする機会となりとても良い経験になりました。「こんなことを知りたい!」そのようなお声をアンケートにてお待ちしております。(学生広報スタッフ 吉元)

読者アンケート

いつもトリセツをご愛読いただき誠にありがとうございます。
より充実した紙面づくりを目指すため、アンケートへのご協力をお願いいたします。



抽選で30名様に
「とりりんステッカー」を
プレゼント!

応募方法はこちら! (PC/スマートフォン共通)

右のQRコードを読み取る、
または<https://forms.gle/DepMjQ8MukRvy5d47>
を直前入力してアクセスしてください。

WEBアンケート簡単3ステップ



回答期限 2025年11月30日

お寄せいただきました内容は、今後のトリセツの参考にさせていただきます。



学生広報スタッフ募集中!!

WEBサイト



X (Twitter)



Instagram



取材にご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

ご意見・ご感想はこちらまで→ gakusei_kouhoustaff@yahoo.co.jp

編集発行: 鳥取大学広報企画室学生広報スタッフ/2025年8月発行

●所属・学年は取材時のものです。